

Governor's Monthly Letter

Rotary International
District 2800 2018-2019

ガバナー月信 002

ガバナーズ・ヴォイス

6ブロック、9人のガバナー 補佐から届いた熱くて力強いメッセージ

今年度の各委員会の活動方針① | 研修セミナーレポート01 [米山奨学・学友委員会]

上林ガバナー公式訪問記 | ロータリアンズ・エッセイ

新入会員・情報掲示板 | 8月のスケジュール

8

[地区方針・目標]

ロータリーの原点に戻ろう

August | ガバナー月信 第2号・2018年8月1日発行



インスピレーションになろう
BE THE INSPIRATION



Rotary 

国際ロータリー第2800地区 2018-2019
ガバナー・上林直樹 | RI 会長・バリー・ラシン | RI 理事・石黒慶一 三木明

Photograph by Sasaki Yoshiharu



会員増強と 新クラブ結成推進 月間にあたって

国際ロータリー2018-2019年度
第2800地区ガバナー

上林直樹
Naoki Kanbayashi

※8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。

8月は、「会員増強、新クラブ結成推進月間」です。地区の会員増強委員会には下記の3項目をお願いいたしました。

①各クラブ2名以上の純増 ②入会3年未満の会員への配慮(退会防止の具体策) ③できるだけ若い世代の入会を促す

ロータリー組織の維持発展の根幹を成す最大のポイントとして、常にクラブの会員数の増強を念頭におかなければならないと考えます。

今年1月のアメリカのサンディエゴにおいて、各地区のガバナーエレクトに1枚のペーパーが配布されました。それは過

去5年間の会員数の動向が記されていて、極端に会員

が減った地区、微増した地区とさまざまでした。わが第2800地区は22名の減、1,625名前後で推移しており、1年間(2016年7月~2017年7月)の会員維持率は新会員が99%、既存会員が92%という数字でした。これを受けて2日間にわたり会員増強の方法、新クラブ結成の取り組み方などについて活発なディスカッションが行われ、大変勉強になりました。しかしながら、日本のロータリアンは高齢化が進み、世界のロータリー会員の平均年齢がいちばん高いのは日本ではないかという話題がしきりと持ち上がりました。

会員が減少してきた最大の理由は経済的な問題です。第2800地区の会員数のピークは1997年度(11月)の2,539人。現在の会員数は約その3分の2です。

さて、「活発で楽しく有意義なクラブづくり」をするためには各クラブの例会の活性化はもとより、新入会員を積極的に入会させ、クラブに新しい風を吹き込むことがなにより必要ではないかと考えます。そのためにも入会候補者のプログラムの仕組みを各クラブで再度確認をいただきたいと思います。

①入会希望、移転会員、候補者を紹介するロータリアンが Rotary.org から情報を提出 ②ロータリー職員が情報を審査し、候補者が基本的な会員資格を満たしているかどうかを確認した上で、候補者が希望する例会場所を基に地区を指定 ③指定された地区のガ

バナー、会員増強委員長、ガバナー補佐に自動通知メールが送信される。

リーダーとなれるロータリアンを 増やすために会員を増やす必要がある。

これらの地区リーダーがオンラインで情報を確認し、最も適切なクラブを指定 ④指定されたクラブの会長、幹事、会員増強に、自動通知メールが送信される。これらのクラブリーダーがオンラインで情報を確認 ⑤クラブ役員が候補者に連絡し、候補者の関心についてさらに詳しく尋ねた上で、クラブ入会が適切かどうかを判断。または、この候補者にほかのクラブを指定してもらうため、地区に情報を戻す。

ジョン・F・ジャーム元RI会長はかつて、「私たちが目指すのは、単にロータリアンの数を増やすことではなく、ロータリーによる善き活動をより多く実現させ、将来にロータリーのリーダーとなれるロータリアンを増やすことです」と明快に述べています。

日和山公園の木造六角灯台越しに望む日本海の夕日は、
港町酒田を代表する風景のひとつといえる。

[→P.08より]

今年度の各委員会の 活動方針 | その①

6ブロック、9人の ガバナー補佐から届いた 熱くて力強いメッセージ。

進藤芳明 | 恩田次郎 | 天野富雄 | 檜山智子
小松栄一 | 伊藤吉明 | 白田廣司 | 増村 力 | 高橋眞己

上林直樹ガバナー年度を
実り大きな一年とするために、
私たちはもう走り始めています。

ガバナー補佐からのメッセージ

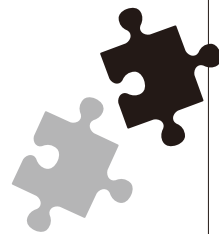
01

第1ブロック
ガバナー補佐
進藤芳明
[酒田ロータリー]



第1ブロックから12年ぶりとなる 上林ガバナーを全力で支えたい。

Yoshiaki Shindo



上林ガバナーは酒田青年会議所の先輩で、多くの事業と一緒にさせていただきました。また、「酒田木やり保存会」の会長でもある上林ガバナーと毎年酒田祭りに参加して、これまで長いお付き合いをさせていただいております。このたび第1ブロックから12年ぶりにガバナーを輩出するにあたり、ガバナー補佐をお引き受けることもこれまでのご縁と感じております。

今年度RIテーマは「何かをやりうという気持ち

をを起こさせる力」という意味で、そのためには「リーダーシップを発揮する」と説明しています。上林ガバナーはRIテーマ実現の手法として、ロータリーの原点に戻りロータリアン一人ひとりがパフォーマーとなり、各クラブ及び地域でリーダーシップを発揮し、ロータリーのイメージ向上を目指しています。第1ブロックにおいても各クラブと連携し、テーマ目標を達成するために活発な活動ができるように努めたいと思います。

02

第2ブロック
ガバナー補佐
恩田次郎
[鶴岡南ロータリー]



二度目となるガバナー補佐だが、 初心を忘れずに重責を果たしたい。

Jiroh Onta

今年度、上林直樹ガバナーより委嘱を受けガバナー補佐の大役をお引受けすることとなりました。私のロータリー歴は、今年12月で25年となります。ガバナー補佐は5年前にも経験しました。

ガバナー補佐の役割は何であるかを認識しながら、石黒慶一RI理事への協力支援とともに、上林ガバナーと各クラブとの良き連絡役となり、各クラブのガバナー公式訪問を補佐いたします。

また、鶴岡市長、庄内町への表敬訪問の日程を

調整するとともに、充実したIMの開催と第2ブロック5クラブ合同例会の企画をし、地区と各クラブのパイプ役を務めてまいりたいと思います。

二度目の経験となりますが、この一年間、ガバナー補佐の重責を感じながら先輩諸兄ロータリアンの皆様のご指導を仰ぎ、ご協力を得て、初心を忘れることなくガバナー補佐の職務をしっかりと果たしていきたいと思っております。宜しくご指導とご鞭撻のほどお願いいたします。

03-1

第3ブロック
ガバナー補佐
天野富雄
[東根中央ロータリー]



メッセンジャーの役割を果たしながら、 ロータリーを学び直す一年としたい。

Tomio Amano



今年度第3ブロックのガバナー補佐をさせていただくことになりました。東根中央ロータリークラブに入会してすでに30年近くなりますが、井の中の蛙で、他のクラブのことはまったくわかりません。輪番制とはいえせつかくの与えられた機会ですから、他のクラブの良いところを貪欲に吸収して持ち帰りたいと思っております。

ロータリーについては学びが足らず、「外に出て奉仕」がいまだにできないでいるところで

す。「ロータリーって何〜?」と問われても答えられません。こんな私にとってガバナー補佐の職務は任重くして道遠しですが、上林直樹ガバナーの思いを第3ブロックの皆様にご伝えるというメッセンジャーとしてのガバナー補佐の責務だけはしっかりと全うしたいと思っております。

皆様のご協力とご支援をいただきながら、私自身ロータリーを学び直す一年間にしたいと思います。何卒よろしくお願いたします。



03-2

第3ブロック ガバナー補佐 檜山智子

[村山ローズロータリー]



担当する各クラブから多くを学び、 自己研鑽の場となるよう頑張りたい。

Tomoko Hiyama

「経験を通してロータリーを勉強しなさい」「ノーと言わないロータリアン」との言葉に背中を押され、ガバナー補佐を引き受けることになりました。身が引き締まる思いです。この機会を前向きに捉え、上林直樹ガバナーを始めとする地区役員の皆様、担当するクラブ会員の皆様から多くのことを学び、私自身の自己研鑽の場となるよう頑張りたいと思っております。

微力ではありますが、バリー・ラシン会長のテー

マ「インスピレーションになろう」、上林直樹ガバナーの方針である(1)基本理念／ロータリーの原点に戻ろう、(2)基本方針／パフォーマー(表現活動者)になろう(3)地区運営方針に沿ったクラブの運営を図れるよう、担当するクラブの円滑な運営と発展のお手伝いをさせていただきます。

まだまだ未熟者でございますので、皆様にはご迷惑をお掛けするかもしれませんが、ご指導とご協力をお願い申し上げます。

04

第4ブロック ガバナー補佐 小松栄一

[寒河江ロータリー]



ロータリアンとしての知識や思慮も 十分ではないが、全力を尽くしたい。

Eiichi Komatsu

バリー・ラシン会長は今年度のテーマを「Be the inspiration」と発表し、上林直樹ガバナーは地区方針を「ロータリーの原点に戻ろう」、基本方針を「パフォーマーになろう」と決定しました。

この方針を受けて、私の役割として以下の目標を掲げました。①組織強化のためのクラブの取り組みを支援する ②会員が地域の先頭に立って活動し、その活動が広く世界に向けたものとなるように支援する ③地域の先導者として次世代を担

う若者育成に積極的に関与する取り組みを支援する ④地域の皆様にロータリークラブの存在や役割を理解していただくための活動を支援する

しかしながら、ロータリアンとしての経験もロータリアンとしての知識や思慮も私自身まだ十分ではありません。一年間ガバナー補佐としてブロック内すべてのロータリアンの皆様と一緒に考えて行動していく所存でございますので、ご指導とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

05-1

第5ブロック ガバナー補佐 伊藤吉明

[山形ロータリー]



地区とクラブとの連携をはかり、 10クラブの親睦を深める努力を。

Yoshiaki Itoh

今年度第5ブロックのガバナー補佐を務めさせていただき伊藤吉明です。1991年(平成3年)2月に山形ロータリークラブに入会してから27年になりますが、地区では長谷川ガバナー年度(2016～2017)に地区幹事を担当した経験があるのみで、担当する各クラブの皆様にご迷惑をおかけするのではないかと心配しております。

上林直樹ガバナーは「ロータリーの原点に戻ろう」の基本理念と「パフォーマー(表現活動者)に

なろう」という基本方針を掲げられました。メンバーひとり一人が積極的に参加して、行動を起こすことが期待されています。

上林ガバナーの年次方針に従い、担当いたします各クラブと地区との連携をはかること、またブロック内の10クラブ相互の親睦をさらに深めることができますようできる限りの努力をしまりたいと思っております。一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

05-2

第5ブロック ガバナー補佐 白田 廣司

〔山形東ロータリー〕



多くのメンバーと自己研鑽に努めながら、
一年間の重責を果たしていきたい。

Kouji Shirata

この度、上林直樹ガバナーより委嘱を受け、第5ブロックのガバナー補佐を務めさせていただきます。ガバナーからの指示に基づきクラブ運営に少しでも役立てればと考えております。

RI会長のバリー・ラシン氏のテーマは「インスピレーションになろう」です。それを受けて上林ガバナーは「パフォーマー（表現活動者）になろう」と地区の基本方針を掲げました。第2800地区のロータリアンひとり一人があらゆることに積極

的に行動を起こすことが求められています。また基本理念の「ロータリーの原点に戻ろう」は親睦を目的としてクラブの活動を行い、その中から奉仕の理想を生み出していくことがガバナーの考える「ロータリーの原点」と思われます。

各クラブのメンバーとともに自身の自己研鑽に努めながら、微力ではありますが重責を果たしてまいりたいと存じます。ご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

06-1

第6ブロック ガバナー補佐 増村 力

〔米沢ロータリー〕



会員一人ひとりが活動しやすくなるよう、
お手伝いをさせていただきたい。

Chikara Masumura

第6ブロック第1グループのガバナー補佐としてお手伝いさせていただきます。2011年入会とロータリー歴も浅く知識も乏しいのですが、ガバナーとの連携を図りながら、各クラブに少しでもお役に立てるよう努めて参りたいと存じます。

RIテーマ、ガバナーの地区目標はすでにご存知と思いますが、私自身としては、各クラブの現状を再認識するためにもフォーラム例会を推奨したいと思います。ロータリーの価値観を共有し、

自分たちのクラブが今後どうあるべきかを模索していくことも必要ではないでしょうか。

ロータリークラブへの入会を促進し、会員構成を考え、奉仕活動としてどこに焦点をしばっていくか、クラブによって多様な方向性があってもよいと思います。各クラブの会長の方針に沿って会員一人ひとりが活動しやすくなるよう、できる限りのお手伝いをさせていただきますので、年間何卒よろしく願いいたします。

06-2

第6ブロック ガバナー補佐 高橋 眞己

〔南陽東ロータリー〕



「ロータリーの原点に戻ろう」を、
私自身のテーマとして実践していきたい。

Masaki Takahashi

今年度の第6ブロックガバナー補佐を拝命しました高橋眞己と申します。正直申し上げて、これまでロータリー歴は積んではいるものの、ロータリーに対して踏み込んだ活動をしてこなかったのが、私自身の実情であります。

ガバナー補佐という大任をいただき、これまでのロータリーに対する私自身の希薄な気持を改める機会を頂戴したものと前向きとらえ、一年間精一杯に頑張らせていただきたいと思います。

上林ガバナーの基本理念「ロータリーの原点に戻ろう(BACK TO BASICS)」は、まさに今年度の私自身に課せられたテーマのように思います。

私が担当させていただきます7クラブの担当の皆様には、私のロータリーの知識不足をロータリーの寛大な心に免じてお許しをいただきながら、私自身ロータリーの原点からともに学んでいきたいと考えております。皆様のご協力とご支援のほど、何卒宜しく願いいたします。





少し緊張した面持ちでスピーチにのぞむ奨学生と、熱心に聞き入る参加者の間には和やかな空気が生まれた。

米山奨学・学友セミナー

7月7日(土) | 天童ホテル(天童市)

米山奨学・学友委員会委員長 田中 隆一



豪雨による西日本での被害状況が報道されるなか、新年度に入って早々、米山奨学・学友セミナーが天童ホテルで開催されました。

上林ガバナーにとって最初の仕事となるセミナーでしたが、国歌、ロータリーソング斉唱では自らがソングリーダーとなり指揮をとるパフォーマンスには少々驚きました。上林ガバナーは酒田の合唱団の一員でもあります。

今年度はロータリー米山記念奨学会、財団設立50周年にあたり、財団設立の契機となった米山梅吉翁の功績をあらためて知るためのDVDと、奨学会、財団設立50周年記念式典の際に行われた、米山梅吉翁のひとりを知る阿部志郎氏(神奈川県立保健福祉大学名誉学長)の特別講演のVTRをセミナーの前半でご覧いただきました。

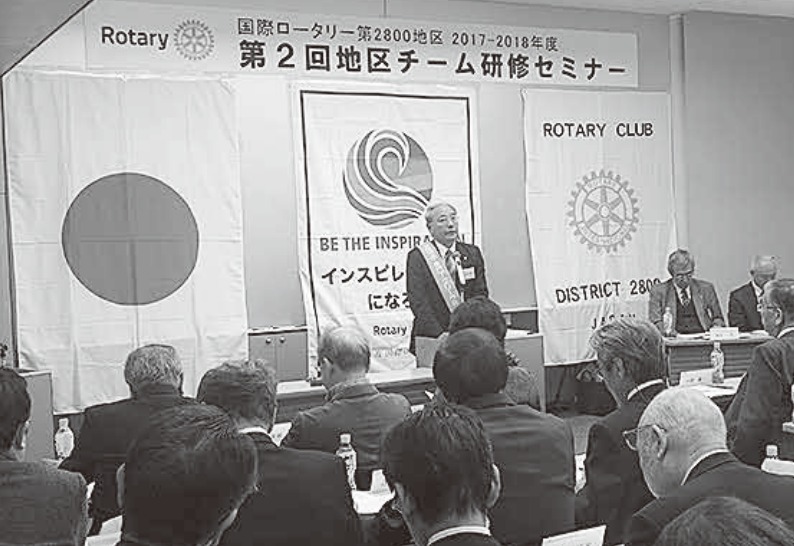
映像を見ながら、米山梅吉の高い奉仕の精神を受け継いだ日本独自の海外留学生への奨学制度のはじ

まりの経緯と、阿部氏が語る梅吉翁の生き方、経済人としての真の在り方について、この日のセミナーに出席した関係者、そして若い米山奨学生たちはそれぞれに感銘を受けたのではないのでしょうか。

その後、8名の奨学生たちのスピーチ(欠席の学生からはビデオメッセージ)が行われ、日本での学生生活、卒業後の展望などが率直に語られました。米山奨学生となったことによって母国と日本との友好の架け橋になりたいという言葉がいずれの学生からも聞かれたことはとても嬉しいことでした。米山奨学会の持つ大きな意義と目的があらためて認識できたように思われました。



昨年度から会長となった高吉嬉さんから学友会の報告があり、地区学友会の活発な活動を知るDVDを見て、米山奨学会、財団への理解をさらに深めることのできた充実したセミナーとなりました。



●表敬訪問(上山市長)

今年度の各委員会の活動方針 | その①

委員会活動はロータリーの具体的な行動を示す重要な施策です。各委員長から今年度の重点的な活動方針を聞きました。

クラブ奉仕委員会

ロータリーの原点を見つめ直すセミナーや新たなロータリー情報を発信していきたい。



クラブ奉仕委員会委員長
高橋敏行 Toshiyuki Takahashi
[南陽ロータリー]

いよいよ上林年度がスタートいたしました。本年度のクラブ奉仕委員会委員長を仰せつかりました。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

RI会長バリー・ラシン氏は、テーマとして「インスピレーションになろう」と提唱されました。地区研修セミナーにおいて上林ガバナーよりそのテーマ趣旨についてレクチャーを受けましたが、私の能力ではなかなか理解し難いところがありました。

なぜインスピレーションなのか分かりません。「パフォーマーになろう」(上林年度の基本理念)がどれ

ほど理解しやすいかとも思いました。しかしながら再度熟読してみると、クラブ奉仕に関しての最も基本的な事柄、ロータリー活動の根源となる考え方を喚起しているようにも思えてきました。

今年度のクラブ奉仕委員会では、私自身まだ理解不足の「インスピレーションになろう」を皆様とともに深耕しながら、ロータリー活動の原点を見つめ直す一年となるようなセミナーやロータリー情報を発信していきたいと思えます。それがそれぞれのクラブでの新たな討論のテーマとなれば幸いです。

ロータリー情報小委員会 (クラブ奉仕委員会内)

ロータリー活動の魅力をより多くの人々に伝えることも委員会の役割として考えたい。



ロータリー情報小委員会委員長
庄司 豊 Yutaka Shoji
[酒田湊ロータリー]

ロータリー情報小委員会は第2800地区の会員、特に新入会員がロータリーを十分理解し、ロータリー会員の特典と責務を把握できるような情報を提供することが任務と考えます。また会員にはロータリーに関する新たな知識や情報を提供し、会員の意識の高揚に努めるとともに、会員相互のコミュニケーションをはかるため下記の年間活動を計画して実践していきます。

●入会3年以内の新入会員を対象として研修会を実施する。 ●入会3年以内の新入会員に地区大会やIMの新会員セミナーへの参加を促し、ロータリー活動に

積極的に参加してもらう。 ●例会卓話の依頼・情報集会の開催・クラブフォーラムへの参加等を通じて、ロータリー情報小委員会として積極的に対応する。

各地域が抱える人口減少の課題がそのままクラブの会員の減少につながると思えますが、新入会員の勧誘、そして入会したばかりの新入会員へのフォローとしてロータリー情報の提供は重要な意味と役割を持つと考えます。ロータリー活動の魅力を会員はもちろん、会員以外の多くの人々に広く伝えることもロータリー情報小委員会の役割ではないかと考えています。



写真は、2月18日に酒田市の東北公益文科大学を会場として行われた「第2回地区チーム研修セミナー」。写真左上から財団委員会、ガバナー(当時・エレクト)を中心としたガバナー補佐(当時・次期)会議。

会員増強委員会

世代を越えた魅力のあるクラブ運営が、会員の増加にそのまま繋がってくる。

日本のロータリークラブは会員数約13万人を最高として1997年頃より減少を続けています。その理由として次のようなことが考えられています

①仕事が厳しく多忙になり例会に出席できないこと ②健康上や高齢化の理由により例会に出席できないこと ③家族の介護や家庭の事情のため例会に出席するのが無理になったこと ④会員同士の親睦の欠如 ⑤クラブ例会の魅力の低下 ⑥奉仕プロジェクトやプログラムに興味を感じないこと ⑦会費その他の経費を負担と感ずること

公共イメージ推進小委員会 (会員増強委員会内)

若い世代にアピールできるロータリー活動をSNS等を使って積極的に公開する。

上林直樹ガバナーが地区目標で述べておられますように会員の高齢化が問題になってきており、ロータリーの公共イメージを推進させて若い会員を増やすことはロータリーの維持と発展のためには必須の課題です。そのために次の3つの目標を掲げます。

①インターアクトからローターアクト、そしてローリーへの流れのさらなる充実 ②さまざまな地域活動を行っている会員からの「ロータリーの奉仕の考え方」について理解の推進 ③職業を通じた「ロータリーの職業奉仕の考え方」の理解の推進



会員増強委員会委員長

守屋文夫 *Fumio Moriya*

[酒田スワンロータリー]

近年は減少傾向に少し歯止めがかかりつつあるようですが、上記の会員減少理由を十分に検討しながら、今年度の会員増強委員会の方針として以下の活動目標を掲げます。

●各クラブ2名以上の純増 ●入会3年未満の会員への配慮、退会防止は推薦人が責任を以て教育する大切さをクラブ全体で共有し、会員の満足度を高めるために関心や希望について定期的に意見を聞く ●女性会員の増強 ●青年会議所、商工会議所青年部の若い人たちと交流をはかって入会を促す



公共イメージ推進小委員会委員長

鞍掛彰秀 *Akihide Kurakake*

[天童東ロータリー]

すなわち単なる会員の勧誘にとどまらず、ロータリーはいったい何を目標として活動しているかを若い世代に明確に示し、彼らの精神に共鳴してもらえるかが正にいま私たちに大きく問われているものと考えます。

各地域で各クラブが地域のために活動している内容をSNSなどを使って積極的に公開していただくようお願いいたします。次世代のロータリアン獲得に向けて、「ロータリーの公共イメージの推進」は大変に重要な課題であることをあらためて認識したいと思います。一年間、よろしく願いいたします。



昨年度の2月18日に酒田市の東北公益文科大学を会場に「第2回地区チーム研修セミナー」が開催され、今年度の各委員会による活動計画などが検討されました。

職業奉仕委員会

「私はロータリアンである」といえる「学びの場」として活動をしていきたい。



職業奉仕委員会委員長

藤野和夫 *Kazuo Fujino*
[大江ロータリー]

今年度のRIテーマが「インスピレーションになろう」。今年度会長のバリー・ラシン氏は、インスピレーションを「何かをやろうという気持ちを起こさせる力」と捉え、ロータリアンとしてクラブに、そして地域にリーダーシップを発揮してチャレンジしていくことが求められています。

2800地区の基本方針は「パフォーマーになろう」です。職業奉仕委員会一人ひとりがパフォーマーである「表現活動者」となって、インスピレーションになれば委員会活動が活発となり、職業奉仕の基本理

念と実践的な考え方がより浸透するものと考えます。

具体的には、①「ロータリアンの行動規範」の周知。②別冊「職業奉仕について」の充実。③職業奉仕セミナーの開催。④1月の職業奉仕月間以外での例会卓話の受け入れ。⑤1月の職業奉仕月間に各クラブ会長宛に職業奉仕メッセージ送付して、例会時に発表してもらう。

これらの活動を通し、「私はロータリアンである」といえる「学びの場」として、職業奉仕委員会がお役に立てればとの思いで活動したいと考えています。

青少年奉仕委員会

青少年奉仕活動の理念を深く理解いただき、その意義を実践するための表現活動者となる。



青少年奉仕委員会委員長

遠藤伸一 *Shinichi Endoh*
[寒河江ロータリー]

RI常設プログラムである、4つのプログラムを担当する委員会としては、RIテーマ「インスピレーションになろう」、そして今年度基本方針「パフォーマーになろう」を実践し活動していきたいと考えます。また、委員会ひとり一人が「表現活動者」になれば、委員会活動・プログラム運営がさらに活発となり、青少年奉仕の理念と実践、そしてその大きな可能性や必要性が理解され深く浸透するものと考えます。

重要なのは各クラブの近隣地域で青少年育成についてどのように考え、取り組むかにあります。これは、た

いへん息の長い取り組みですが、会員増強と公的イメージを高めることと無縁ではありません。

RIのプログラムである、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者育成プログラム、ロータリー青少年交換委員会が互いに協力し合い、さらに多くのクラブが参加できるような配慮と周知を徹底しながら、なぜこのプログラムが重要なのか、自身の体験、プログラムに参加した若者たちの成長、各クラブ、そして近隣する地域への好影響などを熱く広く伝えていきたいと考えています。

中研修室1

Seminar
Room1



左から分科会での職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、
青少年奉仕委員会で行われた個別のセミナー。

インターアクト小委員会 (青少年奉仕委員会内)

新たなインターアクトクラブの設立に向けて、
地区として全力で協力していきたい。

上林ガバナーは、『ロータリーの原点に戻ろう』
をテーマに、どれほど得たかではなく、どれほど与え
たかによって判断されると位置づけました。それを
受けて、インターアクト小委員会ではより多くの、そし
てより大きなインスピレーションをインターアクター
に与えられるような活動をしたいと思います。

●今年度の地区外研修／ベトナム大使館訪問

昨年来県したゲン・クオック・クオン大使の農業
を通じて山形県と交流を深めたいとのメッセージに
対し、将来のリーダー候補を連れて次世代での交流



インターアクト小委員会委員長
高橋 章 Akira Takahashi
[米沢ロータリー]

を約束する目的を持たせた大使館表敬訪問の予定。

●IA地区大会への協力

地区内の全インターアクトクラブが集まる大会で、
インターアクトクラブの日頃の活動とその活躍を知る
ことができます。本年度は九里学園高等学校がホス
ト校で開催される予定です。

●インターアクトクラブの新設

新庄東高等学校、谷地高等学校よりお話が聞こえ
ています。地区として全力でインターアクトクラブ設
立に向けての協力をしていきたいと考えています。

ローターアクト小委員会 (青少年奉仕委員会内)

上林ガバナーが力を注ぐRACプロジェクトに、
多くのロータリアンと参加して支援をしたい。



ローターアクト小委員会委員長
越智茂昭 Shigeaki Koshiji
[鶴岡ロータリー]

ローターアクト小委員会は、1968年にRI理事会で
採択された国際ロータリーの常設プログラムで、18歳
から30歳まで、社会に出て一人歩きをはじめ青年男
女で構成されるローターアクト・クラブ(RAC)を支援
するプロジェクトです。

ローターアクト・クラブは、184カ国、10,904クラブに
250,792名の会員が地域社会に、あるときはロータリア
ンとともに奉仕をしながら、友情や仕事の輪を広げ、
世界理解を深めようと活動しています。当地区では鶴岡
RAC、米沢RAC、南陽東RAC、そして東北文教大学

RACの4クラブが活動しています。

今年度は上林ガバナーが特に力を入れているプロ
ジェクトでもありますので、ローターアクトが計画す
る年4回の会長幹事会をはじめ、夏季交流会、ウィン
ター交流会、年次大会等のRAC行事を提唱クラブを
はじめとするロータリアンの方々と参加しながら、地区
としてRACを強力に支援していきたいと思います。

ローターアクト・クラブの会員は年々減少してきてい
ます。皆さまの会社の若い社員の方々にぜひ、RACへ
の勧誘をよろしくお願いいたします。



7月12日の寒河江クラブを皮切りに、ガバナー公式訪問がスタートしました。上林直樹ガバナーのフランクで、意外な素顔に出会えるクラブ訪問です。公式訪問は最終の酒田中央クラブまで、11月末までずっ～と続きます。

上林ガバナー 公式訪問記

Governor's Official Visit



※各クラブの会員数は2018年7月15日現在です。

ガバナー公式訪問.001

寒河江ロータリークラブ

創立 | 1959年9月 会員数 | 44名

会長 | 小野承信 幹事 | 沖津博

上林ガバナーの少しピリッとした辛口の会話が強く印象に残った。

7月12日(木)に上林ガバナーを例会にお迎えし、第2800地区において最初となる公式訪問が行われました。昨年度の鈴木ガバナーは当クラブの所属であることから、上林ガバナーには慣例に従って地区で最初の公式訪問を行っていただきました。

公式訪問例会に先立って、第4ブロックの小松ガバナー補佐、寒河江さくらんぼクラブの角田会長、佐藤幹事が同行して佐藤寒河江市長を表敬訪問し、約1時間にわたり地域の諸問題等についての有意義な懇談が行われました。

会長幹事会では小野会長が今年度の当クラブの活動方針を説明し、各委員会の活動計画を基に質疑が行われました。終始和やかな雰囲気の中で上林ガバナーのお考えをお聞きすることができました。また、上期アッセンブリーでは小野会長からクラブ運営の方向性が示され、ガバナーとの活発な意見交換を行うことができました。昨年度までの鈴木ガバナーのほとぼしる情熱とはまた異なるリーダーシップを発揮される上林ガバナーの少しピリッと辛みの効いたお話はそれぞれの会員の心に強く印象として残った公式訪問でした。(幹事・沖津博)



2名の新入会員にロータリーバッジの授与と祝福



ビアパーティのフィナーレは「手に手つないで」

天童ロータリークラブ

創立 | 1958年3月 会員数 | 48名
会長 | 須藤 智 幹事 | 滝口順一

ガバナーのきさくな性格もあってか、ざっくばらんな会長幹事会となった。

上林直樹ガバナーが天童ロータリークラブに公式訪問されたのは7月13日でした。前日は寒河江ロータリークラブが最初の訪問地で、寒河江に宿泊され、当クラブは2番目の公式訪問と伺いました。当日は天野富雄ガバナー補佐と高橋竹夫地区資金委員長が同行され、午前11時から会長幹事会を開催し、当クラブからは、会長、幹事のほかに会長エレクト、副幹事の4名が出席し、上林ガバナーの性格もあってか、会長幹事会は肩の凝らないざっくばらんな会話に終始したように思います。

例会で上林ガバナーは、人、物、金がやはり重要で、人が集まれば金も集まり物も動く、1業種1名の原則が個々の自己啓発を促し、そのことによって会員スピーチの内容にも深みが増してくる。15分でもいいからできるだけ会員スピーチのプログラムを増やして欲しいとのお話がありました。

例会終了後には、天童3クラブの会長幹事が合流して山本天童市長を表敬訪問しました。酒田港に來航している豪華な大型クルーズ船の話でひとしきり盛り上がり、市長を交え楽しい雰囲気のひとつを過ごせたと感じています。(幹事・滝口順一)



上林ガバナーと高橋資金委員長の間に須藤会長



会長幹事会、例会ともに和やかな雰囲気のうちに進んだ

南陽東ロータリークラブ

創立 | 1989年5月 会員数 | 30名
会長 | 川井利幸 幹事 | 黒澤信彦

クラブが抱える課題等について、適切なるアドバイスをいただいた。

7月17日(火)、上林直樹ガバナー、高橋眞己第6ブロックガバナー補佐、池田健一地区幹事をお迎えして公式訪問が行われました。寒河江ロータリークラブ、天童ロータリークラブに次いで3番目の公式訪問ということでまことに光栄と感じています。

例会に先立ち午前11時より、会長幹事会は会長エレクトを加えて開催されました。南陽東ロータリークラブが直面している課題や活動計画をお話したところ、上林ガバナーにはユーモアを交えながら、活動、運営全般について大変参考となる適切なアドバイスをいただきました。今年度の委員会活動等にさっそく活かしていきたいと思ひます。

12時30分からの例会では和気藹々とした食事の時間が終わると、今年度の基本理念「ロータリーの原点に戻ろう(BACK TO BASICK)」、そして基本方針「パフォーマー(表現活動者)になろう」について、ガバナーより分かり易い卓話を頂戴しました。

例会終了後は上林ガバナーを中心に恒例の全員での記念撮影。その後、南陽市長への表敬訪問、さらに南陽高等学校のインターアクトのメンバーに表敬訪問を行いました。(会長・川井利幸)



大きな「歓迎 上林直樹ガバナー」、まことに恐縮であります



和田廣バスターガバナーに米山功労者メジャードナー(11回)表彰

生活に潤いを与えてくれる 年中行事を「旧暦」で楽しんでみる。

8月の行事というとお盆があります。お盆には先祖や亡くなった人たちが浄土から地上に戻ってくるといわれています。その時に先祖の精霊をお迎えし供養をします。

東京やお隣の鶴岡では7月15日を中心に行いますが、その他の地域では8月15日に行くところが多いようです。新暦でやるか旧暦でやるかの違いがあります。

ところで、新暦(この時はユリウス暦)に変わったのは明治5年の12月2日です。この日を突然として明治6年1月1日にしたのです。理由は旧暦では明治6年は13ヶ月になるので、公務員の給料を13回払わなければならないということがあったからです。そうしなくなかった明治政府が新暦に急遽変更したのです。

それ以来、年中行事は新暦、月遅れ、旧暦とやる時期が違ってきています。

しかし、やはり年中行事は旧暦がびったりくるようです。例えば、端午の節句の時には菖蒲湯に入りますが、新暦5月5日では菖蒲の育ちが今ひとつです。旧暦の場合は背が高い菖蒲が手に入ります。

五月晴れ(さつきばれ)は5月の爽やかな天気を思い浮かべますが、6月の梅雨の時期の得難い晴れ間を言います。

また、七夕は新暦の7月7日にやると、梅雨の時期ですからほとんどが雨ということになり、彦星と織姫は逢えない年がとて多くなります。旧暦ですと今年は8月17日が七夕にあたり、梅雨はすでにあがっていて二人は逢えるのです。

仄聞したところによると、沖縄では漁は旧暦にしたがってやると大漁になるそうです。



天文学的な動きとは別に、生活暦としては旧暦の方が人にあると思います。我が家では旧暦のカレンダーも掛けてあります。生活に潤いを与えてくれるさまざまな年中行事を旧暦で楽しんでみてはいかがでしょうか。



余目ロータリークラブ
渡部 晃
Akira Watanabe
[2016年7月入会]

私は39歳で入会し、翌年の2017~18年度に幹事を仰せつかりました。入会早々クラブ運営に携り、地区やブロックの事業にも参加し、どのクラブでも共通する課題は会員の減少、高齢化、例会の出席率でした。

余目RCは平均年齢の若いクラブです。今後も若い会員と経験豊富な会員がバラ

ス良く行動できるよう、また、余目ロータリーの良さを生かしつつ、時代に合ったクラブに変えていこうと模索をしています。

地域にとって必要な組織であり続けるために、誰のためにロータリーがあり、なぜ集うのかを明確に考え、将来を見つめた改革

ロータリーが地域にとって、 必要な組織であり続けるために。

が必要な時期に来ているように思います。

「ロータリーって、おもしろい〜」と心から思っていただけのクラブになるようみんなで日々努力していきたいと思っています。



しんじん
ロータリー
のひとこと②

新 入 会 員

ご入会おめでとうございます。



所属／酒田湊
職業分類／乳販売業
池田 志郎
Shiroh Ikeda
[2018年5月入会]



所属／米沢おしょうしな
職業分類／飲食業
森 敦子
Atsuko Mori
[2018年6月入会]



所属／酒田スワン
職業分類／サービス
佐藤 淳
Jun Satoh
[2018年6月入会]



所属／米沢上杉
職業分類／老人福祉事業
石澤 真
Makoto Ishizawa
[2018年7月入会]



所属／米沢上杉
職業分類／総合設備業
太宰 浩一
Kouichi Dazai
[2018年7月入会]



所属／酒田東
職業分類／電力供給
高橋 剛
Tsuyoshi Takahashi
[2018年7月入会]



所属／酒田東
職業分類／総合設備
白鳥 敏
Satoshi Shiratori
[2018年7月入会]



所属／酒田スワン
職業分類／電気設計
加藤 亨
Tohru Katoh
[2018年7月入会]



所属／酒田
職業分類／卸電気事業
八木 誠
Makoto Yagi
[2018年7月入会]



所属／大江
職業分類／郵便事業
松田 文明
Fumiaki Matsuda
[2018年7月入会]

新入会員／情報掲示板



国際ロータリー第2800地区



地区大会

Rotary International District 2800 2018-2019

2018年10月20日(土)・21日(日)

この秋、酒田市を会場に地区大会が開催されます。
第2800地区の多くのロータリアンがこの地に集って、
ロータリーの友情を深めていただくことを願っています。

情 報 掲 示 板

1. 10月20日～21日に酒田市を会場に開催される地区大会のチラシをご覧ください!

野口健氏の特別記念講演は市民(先着200名)にも公開されます!
●入場整理券は10月2日10時から酒田市民会館でお渡し!



2. 「山形米山学友会賛助会員」をひろ～く募集しています!

山形米山学友会は、地域との国際交流と地区のロータリアンの交流を深めるためにこれまでさまざまな活動を行ってきましたが、会員数が限られていることもあり、山形県全域での活動が難しい状況にあります。

つきましては、第2800地区の皆さまに山形米山学友会賛助会員としてぜひご協力をいただきますようお願いを申し上げます。

●賛助会員費／お一人2,000円 ●詳しくは地区事務所までお問合わせください。



Governor's Monthly Letter

Rotary International
District 2800 2018-2019

ガバナー月信 002

会員増強・新クラブ結成推進月間

Schedule of August

8月のスケジュール

日 曜	主要な行事・公式訪問
8/1 水	●G公式訪問[長井中央] ●表敬訪問(長井市長)
2 木	●G公式訪問[鶴岡南]
3 金	
4 土	
5 日	
6 月	●G公式訪問[東根中央]
7 火	●G公式訪問[村山] ●表敬訪問(村山市長)
8 水	●G公式訪問[村山ローズ]
9 木	
10 金	●G公式訪問[山形東] ●表敬訪問(山形県知事・山形放送社長)
11 土	(山の日)
12 日	
13 月	
14 火	
15 水	
16 木	
17 金	
18 土	
19 日	●第1回諮問委員会
20 月	

日 曜	主要な行事・公式訪問
21 火	●G公式訪問[大江] ●表敬訪問(大江町長/上山市長)
22 水	●G公式訪問[上山]
23 木	●G公式訪問[山形北]
24 金	
25 土	
26 日	●ローターアクト第1回会長・幹事会(天童・青年自然の家)
27 月	●G公式訪問[山形イブニング]
28 火	●G公式訪問[山形南]
29 水	●G公式訪問[西川月山] ●表敬訪問(西川町長)
30 木	
31 金	
9/1 土	●クラブ奉仕セミナー(酒田)
2 日	
3 月	●G公式訪問[中山] (GETS)
4 火	●G公式訪問[山形中央]
5 水	●G公式訪問[鶴岡東] (DTLS)
6 木	●G公式訪問[酒田東]
7 金	
8 土	
9 日	



(写真左より) 飛鳥荒崎の夕日 | 本間美術館旧館 | 毎年恒例の酒田花火ショー

Rotary



ガバナー事務所

〒998-0854 山形県酒田市末広町7-1 鐵工会館内

tel.0234-28-8604 fax.0234-28-8614

e-mail: ri2800kanba@email.plala.or.jp

地区事務所

〒994-0027 山形県天童市桜町2-20

tel.023-687-0208 fax.023-687-0209

e-mail: ri2800@muse.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.rid2800.jp>

表紙写真 | 佐々木吉治

8月に入るとすぐに「酒田港まつり」が始まる。

新しいスタイルの酒田甚句が酒田の若者たちの熱気と力強い太鼓の響きとともに街なかの夜を席巻する。